



2026年3月期において、当社が株主等と実施した対話の状況について、以下の通りご報告いたします。

## 1. 対話の対応者

- 当社では、IR業務は原則として経営戦略部広報室が、SR業務はコーポレート管理室が担当しております。また、対話のテーマ等に応じて、代表取締役、経営戦略部担当取締役、経営戦略部長または経理部長等の適任者が出席し対応しております。
- 第2四半期、本決算時においては、決算説明会に代表取締役社長及び専務取締役が出席し、決算説明及び株主・投資家からの質問対応をいたしました。

## 2. 対話を行った株主・投資家

国内外のアナリスト、機関投資家のファンドマネージャー及び議決権行使担当者等と対話を行いました。

〔対話を行った回数〕

- 2025年3月期 計114件(内、国内 83 件/海外31件)
- 2026年3月期 計173件(内、国内 86 件/海外87件)

## 3. 経営陣へのフィードバックの状況

株主・投資家との対話の状況について、定期的に取り締役会に報告しております。

## 4. 投資家との対話の取組み

- 個別IR、SRの受付対応
- 決算説明会(第2四半期・本決算)
- 施設見学会(東京撮影所、京都撮影所、太秦映画村)
- スモールMTG
- 決算短信説明資料(日・英)
- 決算短信(日・英)
- 適時開示(日・英)
- 株主総会
- 招集通知(日・英)  
※英語は狭義および参考書類のみ
- 有価証券報告書(日・英)
- 公式WEBサイト(日・英)
- 公式LINE IR
- 統合報告書(日・英)

## 5. 株主・投資家との対話の主なテーマ

### ガバナンス

- ・親子上場
- ・買収防衛策
- ・社外取締役の独立性

### 中長期VISION

- ・成長戦略の具体策
- ・成長投資の内容

### 資本効率性

- ・PBR・ROE向上
- ・キャッシュアロケーション、  
配当性向
- ・政策保有株式の縮減、保有  
不動産の活用等

### サステナビリティ

- ・人的資本経営
- ・統合報告書
- ・サイバーセキュリティ

### 業績

- ・事業環境、業績見通し
- ・IP戦略、海外戦略
- ・太秦映画村・東映会館の  
リニューアル計画等

### その他

- ・株主還元
- ・女性管理職比率の状況
- ・生成AIへの対応等

## 6. 対話を踏まえた主な取組み

- ① 株主還元の充実
  - ・ 特別配当の実施
- ② 資本効率の改善
  - ・ 政策保有株式の縮減、不動産再開発の推進
- ③ サステナビリティに関する取組み
  - ・ 人的資本経営推進に関する指標及び目標の設定
  - ・ 温室効果ガス排出量削減目標の設定
  - ・ 気候変動に関するシナリオ分析の実施
  - ・ 「パートナーシップ構築宣言」の公開
- ④ 株主・投資家との対話の促進、情報開示の充実
  - ・ 施設見学会(東京撮影所、京都撮影所、太秦映画村)の実施
  - ・ スモールMTGの実施
  - ・ 統合報告書の開示